

里山の魅力を満喫!!

獅子ヶ鼻トレッキングコース

コース図とコースタイム



大平集落センター



下公園まで徒歩40分

虫生

栗園長敷露

冷泉

林道(工事中)

浮き石ルート

浮石

権現谷

権現谷橋

蟻の戸波り

蟻地蔵

岩村山: 2等三角点(259m)

東屋展望台

深海岩

黒観音

鉄石

伏見稲荷

神道修験

480段の石段

五体観音

吊り橋

獅子の尾橋

獅子ヶ鼻岩展望台

衣掛けの松

「獅子ヶ鼻」の撮影ポイント

歴史の広場

512段の石段上り

三疊松

八畳岩(249m)

大荷場 作業用車だけはこまで入れる

テレビドラマ「ウォーターボーイズ2」のロケ地

公園上駐車場からのスタートもOK

赤線 NTN整備区域

車道

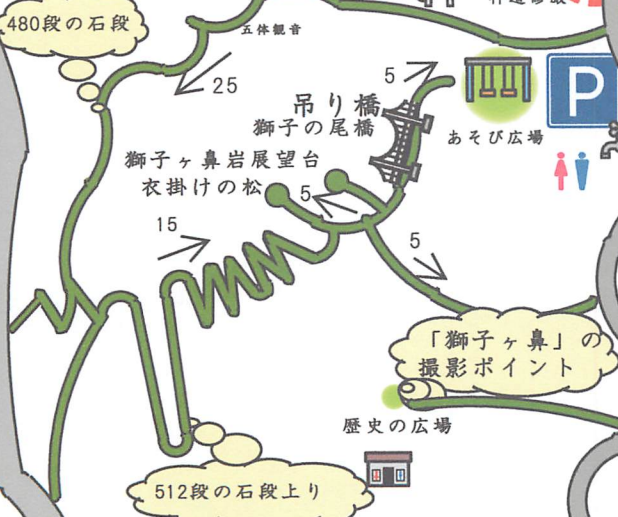
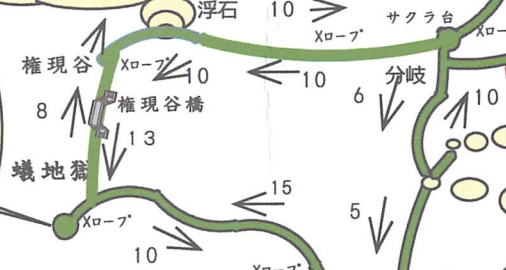
広場・公園

推奨コース順



獅子ヶ鼻荘

県道283 横川・磐田線



体力に応じたコース選定

(上り岩山通り 下り野草の小径)	ポピュラーコース ①	<p>休憩時間除く歩行時間: 3時間17分</p> <p>下公園駐車場 → 上公園駐車場 → 蟻の戸渡り → 浮石 → さくら台 → 藤見平 <small>スタート 30分 30分 18分 10分 8分</small></p> <p>→ 分岐 → 鐘掛岩 → 分岐 → (野草の小道) → 八畳岩 → 上公園駐車場 → 下公園駐車場 <small>8分 15分 12分 2分 分 6分 23分 26分(稲荷コース)</small></p> <p>コメント: ロープ場を上りにした方が安全で楽 従って、上り岩山通り下り野草の小径にした。</p>	
	(上り岩山通り 下り野鳥の径)	ポピュラーコース ②	<p>休憩時間除く歩行時間: 3時間34分</p> <p>下公園駐車場 → 上公園駐車場 → 蟻の戸渡り → 浮石 → さくら台 → 藤見平 <small>スタート 30分 30分 18分 10分 8分</small></p> <p>→ 分岐 → 鐘掛岩 → 分岐 → (野草の小道) → 八畳岩 → 野鳥の径 → 上公園駐車場 → 下公園駐車場 <small>8分 15分 12分 2分 15分 6分 43分 26分(稲荷コース)</small></p> <p>コメント: ロープ場を上りにした方が安全で楽 従って、上り岩山通り下り野草の小径にした。楽しみが多い野鳥の森を通るコース</p>
		ダイナミックコース 往復岩山通り	

注意事項	1. トイレは『ふれあい広場』の先にはありません
	2. 水場は全くありません
	3. 装備靴は軽登山靴以上 水1リットル 雨具 非常食 手袋 常備薬
	4. 急勾配のところが多く、靴紐はしっかりと結ぶこと
	5. 怪我は自己責任 決して無理をしない。体力に自信のない方は入山お断り
	6. 携帯電話は通じない範囲が多い

凄い!!こんな近場にあったダイナミックな

獅子ヶ鼻トレッキングコース

(トレッキングは特に山頂にはこだわらず、山の中を歩くことを目的としたもの)

獅子ヶ鼻トレッキングコースは、平成 25 年 NPO 法人日本トレッキング協会に登録をし、認定を受けた県唯一のトレッキングコースです。本コースは、体力に応じた3つのコースが設定されている。今回は健脚向けの岩山通りコースを歩くことにしよう。

この獅子ヶ鼻は自然の宝庫であり、**珍しい動植物が豊富**なところですよ。

大切にしたい。“トル”のは写真だけにしておね!

- スタート:獅子ヶ鼻公園下駐車場。ステージの前はグランドゴルフ場で地元の方々が駐車場利用されているので、市の広場はグランドゴルフ場の奥にあるのでそちらを利用すること。トイレも完備し、桜の時期には花がきれいな公園である。
- 公園前のバス停の脇に登山道入り口の案内板がある。13 曲がりの石段をダラダラ登ること 10 分行くと『衣掛けの松』への道がある。奇岩の一つでもあり立ち寄っていい。来た道に戻り、さらに 5 分ほど行くと『歴史の広場』に着く。広場の奥に進むと、右側に『衣掛け松』のあった岩(獅子像)全体が見渡せる。
- 展望台・吊り橋を過ぎると、広い駐車場(上公園駐車場)に出る。最後の水場である。これから 3 時間の行程。水を確保しておこう。舗装された道を左(北)へ進む。右側は昭和 50 年代に開墾された広大な茶畑が広がる。さらに遠くにはサッカー場エコバの屋根が見える。しかし高さの関係で近くの山々に遮られ富士山は見えない。左手は『ふれあい広場』を見ながら進む。左前方にNTNの白い電源塔が見える。ここからは舗装のない道になる。さらに進むと東屋・三角点・蟻の戸渡りの分岐点に出る。このあたりから、2011 年度にトレッキングコースとして整備された地域に入る。折角だから寄り道して東屋での展望を楽しもう。『東屋』から、『三角点』経由で、へ進もう。
- 『三角点』は岩村山(295.5m)で、里山では珍しい 2 等三角点である。
- 『蟻の戸渡り』 左折の案内に従ってしばらく落ち葉の心地よいフワフワ道・岩場で急なアップダウンを慎重に進む。5 分ほど行くと最初のロープ場に出る。眼前に大きな岩が立ちはだかる。2 本目のロープ場は手前 20m の直登に張られている。登り切ると開かれた丘に出るが『蟻の戸渡り』を見渡せる場所。ここには、緑の旗が立っている。長さ 10m 幅 1m の岩場とその先に垂直の岩場(5m)が『蟻の戸渡り』だ。戸渡の真ん中に 70~80cm の岩がデンと居座り、渡るには度胸がいる。この石がヤっカイでこの石のため先に進めない方が多勢居るのだ! 小高い岩場を登るには、2 本のロープを使うのと岩場の凸凹使う二通りある。岩の上には『天狗の席』『大天狗のお席』があり大天狗のお席の足下は絶壁。『南の覗き』である。周辺の木々につかまり天狗になったつもりで一休みも良いだろう!! 天狗の細道の先に『女天狗の席』があり、この先は未整備であり、来た道を引き返そう。

浮き石コースガイド

獅子ヶ鼻上公園からのコースを案内しよう!

上公園の駐車場から真新しいコース矢印に従いすすむ。5 分ほどで右手に展望の良い処に出る。正月には日の出を拝む絶景ポイントである。

遠くには東粟ヶ岳・その右手には小笠山・その麓にはサッカー場のエコバ・その先にはキラキラ光る太平洋・海に浮かぶ船舶まで見える。ただ残念なのはここは標高が低く、粟ヶ岳等の山々に遮られ富士山が見えない。眼を近くに移すと大茶園が広がる。しばらく道を進むと、右手には先ほどの眺望が視野を広げて見え、4 月中旬~5 月初旬には大茶園が萌黄色に輝く風景

は圧巻の感動を与えてくれる。左手には『ふれあい広場』があり、四季折々の花が楽しめる。特に春は桜・ツツジ、10月頃から1月頃まで咲き続ける四季桜並木は一見に値する。

広場の北には無線塔があり、この辺りから舗装道が土の山道になる。分岐点を左に行くと展望台があり、南から東にかけての眺望が楽しめる。浜北区・アクトシティー・天竜川・飛龍大橋・新東名・豊岡カントリーCC・遠くには都田の風景・湖西連峰の観音山など…。職業訓練生が立てた東屋があり、屋根裏にはトレッキングコース整備に参加したボランティア150名近くの木札が掲示されている。東屋の北3~4mの処に二等三角点がある。東屋の先に立ち枯れの木があり、鷹が時々止まっているのが見られる。

東屋から別れ、コースの最標高点公認の二等三角点に行こう。ブリジストンが主催するエコの看板を見て階段を上ると二等三角点に至る。眺望もよい。二等三角点から下ると分岐点に至る。左手の『蟻の戸渡』・『浮石コース』に入る。しばらく落ち葉の心地よいフワフワ道・岩場で急なアップダウンを慎重に進む。眼前に大きな岩が立ちはだかる『蟻の戸渡』・『浮石コース』分岐点を右の浮石コースを取る。蟻の戸渡へ行かれる方は前述の『蟻の戸渡』を参照してください。『蟻の戸渡』からここまで戻って浮石コースに行こう。

平成25年2月に新設された浮石コースは急な階段を降りに至る。権現谷の橋を渡り、急なロープ場を登ると小さな祠がある。安全を祈願してから先に進もう。この先は今回整備された遊歩道がある。右手には旧のロープ場がある。こちらは未整備であるが、林の中を通る山道を楽しめる。遊歩道から上を見ると卵形で横3m幅2m高さ1.5mの巨岩が頂の上に不安定な状態で鎮座しておられる。接地面が少なく何故このような形の巨岩が大地震にも耐えてあるのか不思議である。落ちない事にあやかって受験のパワースポットに格好の場所。道案内に従っていくと『サクラ台』に着く。整備前は雑木で眺望がなかったが、地元の協力で眺望が望めるよう雑木を切って頂きました。ここから『蟻の戸渡』・権現谷が見えます。この先は岩山通りの項を参照ください。

- 『蟻の戸渡り』・『八畳岩』案内板まで戻り、『八畳岩』に進もう。8分ほど進むと分岐点。案内に従って右の道を進むとすぐ『八畳岩』に出る。平らな大岩の上で大の字でキレイな空気を吸うのも一興。ただ岩の上から落ちると誰も気付かないから注意！本宮山・秋葉山・三木CCなどの展望はすばらしい。東の目の前には大きな岩の窪みがあり、「蟻地獄」同様海の波で削られた物です。標高的にも「こうもり岩」「蟻地獄」と同じで同一海面の隆起した物と考えられます。何か謂われがありそうだが名前も無く地元の登山家も行ったことはなかったが、2013・3・7現地到達し、「不帰の洞岩」(カラスのドウガン)と命名した。『八畳岩』を下るとすぐ右手に『三畳の松』がある。三畳程の岩場にぽつんと1本の松が立っている。

- 10分ほど進むと3ヶ所目のロープ場に出る。右側のルートは『野草の小径』で今回は道なりの『さくら台』へ行く。(左トラバース下に『長寿の根』があり、10回擦ると寿命が10年延びると謂われる縁起根がある)——ここから藤見平まで、狭い道と岩場のロープ場が続くのでストック(ポール・杖)はリュック・ザックに収納して両手をフリーにしていくのが良い。『浮石』まで往復30分一度は見ておいた方がよい。直登とトラバースのロープを使って、出たところが『さくら台』(234m)だ。広く切り開かれた周囲に新しく桜が10数本植えられた。大パノラマが楽しめる。振り返ると先ほど行った『蟻の戸渡り』が見える。

- 『さくら台』を下り屏風岩に出るロープ場を過ぎ小さなアップダウンを繰り返し8分ほどのところに崖場の両側に張られたロープを頼りに狭い道に行く。地盤も弱いので山側をゆっくり歩こう。そして難所の『藤見平』直下の直登ロープ場だ。登りに3本ロープが張られているがステップを確認しながら慎重に登ろう。登り切って左に進むと『藤見平』(239m)だ。藤の咲く時期はゆっくりしたい処だ。見通しの良い日には遠くに太平洋を航行する船が見える。『藤見平』の先には道がない(次ページの周回道図を参考)から逆コースの時は気を付けるよう！一服したら鐘掛け岩に進もう。

- 大岩を右に巻き下り切った右側の場所に、隠れるように『コウモリ岩』がある。道側から見ると魚の頭に似て見え、前から見るとコウモリの口に見える。口の中は砂地になっていて海底隆起の痕跡が覗える。実際にコウモリを見た人もいます。『藤見平』から8分ほど行き、階段を下りると『虫生』と『鐘掛岩』との分岐点に出る。ここは林道獅子ヶ鼻線工事中の箇所。『鐘

掛岩』は左に進む。数回のアップダウンを繰り返し最後のロープ場に出る。左のロープに沿ってトラバースする。右のロープは下りに使用する。『鐘掛岩』の手前に大木を横にしたベンチがある。終点『鐘掛岩』(221m)の頂上だ。鐘掛岩』の先端は左側にさらに 30m 進んだ所だ。ここにも岩の上に 1 本の松が元気に立っている。何故か岩場の上に 1 本だけの松が立っているのは偶然か？

● 帰りは体力と相談して下記の 3 通りのコースがある。

1. 分岐から虫生に出て、県道 283 号を経てスタート地点に戻るコース(57 分)
2. 分岐から『野草の小径』経由で戻る(68 分)
3. 来た道に戻る(66 分)

があるが 2. 3. のコースを選択したときは、あそびの広場に北側を真直ぐ降りる伏見稲荷コースがお勧め。より一層トレッキングが楽しめる。

後書き

未だ未だ未紹介のダイナミックなコースがあり、岩山通りのピストレ(?)を推進する。往路と復路を全く異なる山容で歩きごたえのあるコースにしたい。(冷泉コース・『馬の背岩』・『浮石 2』・本宮山コースなど)

